

日本政策金融公庫

農林水産事業のご案内

2018



Contents

2	ごあいさつ
3	日本政策金融公庫の概要
4	農林水産事業の概要
5	平成29年度融資実績
7	融資の状況と特徴
7	農業分野
9	林業分野
11	漁業分野
13	加工流通分野
15	多様な経営支援サービスの提供
18	農林漁業分野における民間金融サポートの推進
19	融資制度
19	事業目的別にみた主な融資制度
21	実績資料
22	ご相談窓口一覧

(注)本誌の計数について

1. 単位未満の計数
金額の単位未満は切り捨て、比率(%)は表示前桁を四捨五入しています。したがって、合計欄の計数は、内訳を集計した計数と一致しない場合があります。
2. 表示方法
単位に満たない場合は「0」と、該当数字のない場合は「—」と表示しています。

ごあいさつ

日本政策金融公庫(日本公庫)農林水産事業に対する皆さまの日頃のご理解とご協力に心からお礼申し上げます。

日本公庫農林水産事業は、国の施策に沿って、農林水産業・食品産業に携わる皆さまの経営発展の支援や自然災害の影響などに対するセーフティネット機能の発揮のため、長期の融資を行うとともに、多様な経営支援サービスの提供や、民間金融機関に対するサポートや協調した取組みなどを進めてきております。

昨年度は、東日本大震災や熊本地震からの復興支援に加え、台風や大雨被害等のセーフティネット需要へきめ細かに対応いたしました。また、農業分野においては新たな国際環境の下での攻めの経営展開への取組みを、林業分野においては地域材の安定供給体制を構築するための取組みを、漁業分野においては操業・生産体制の充実・強化を目指す取組みを、そして加工流通分野においては国産農畜水産物の利用拡大や事業の高度化・合理化に向けた取組みを積極的に支援してまいりました。

今後とも、日本政策金融公庫法に定められた政策金融機関としての役割を踏まえて、自然災害等に対するセーフティネット機能を適切に発揮するとともに、ICT、ロボットの活用等によるスマート農林水産業の推進を含め、国の重要政策を実現していくため、融資や出資を通じた支援を行ってまいります。

さらに、資金面のほか、多様化する地域のニーズやお客さまの経営課題にお応えするため、国産農産物・加工食品の展示商談会「アグリフードEXPO」による販路開拓支援、農業・林業・水産業の経営アドバイザーによる相談対応や農林水産物などの輸出のサポートなど、きめ細かな経営支援サービスを提供してまいります。

また、政府の「新しい経済政策パッケージ」において、中小企業・小規模事業者について「今後10年間程度を事業



承継の集中実施期間として取組みを強化する」とされ、農林水産業においても、担い手への円滑な経営継承が引き続き重要な課題となっていることから、法人化の推進や経営資源マッチング、支援機関との連携等に引き続き取り組んでまいります。

私どもは、これからも「現場本位」をモットーに、農林水産業・食品産業に携わる皆さまの未来をともに考え、農林水産分野への融資に取り組んでいる民間金融機関をはじめ、関係する皆さまとの連携を一層密にしながら、農林水産業・食品産業の成長と発展に貢献できるよう努めてまいりますので、さらなるご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本資料は、日本公庫農林水産事業の全般的な業務内容と最新の取組みをご紹介することを目的に作成しておりますが、特に当事業の年度ごとの融資実績は、農林水産分野における投資の動向を測る上での重要なバロメーターの一つであると考え、今回から直近年度の融資実績についても新たに項目立てを行い、盛り込むことといたしましたので、ご活用いただければ幸いです。

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部長 **新井 毅**